

令和2年4月11日

北信西支部の皆様へ

理事長 北川 正美

春暖の候、西支部の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。満開の桜が今年は恨めしく思えるのは私だけでありましょうか。全く予期しないこの状況下で、各チームとも活動において多大な影響を受けていることと推察されます。

本年度、全日本小学生バレーボール大会が延期と決定しました。これは何を意味するかというと、これまで行ってきた年間スケジュール事業をすべて変更しなければならないということでもあります。しかしながら、どのように変更すればいいのかについては、今の時点では全く見当がつかない状況です。この大問題は戦後最大の日本の危機であると同時に、我々が携わるバレー界にとって、いやスポーツ界全体にとって最大の危機という認識をする必要があります。この非常事態を何としても乗り越えなければなりません。

本日（4月11日）開催予定だった支部総会が開催できないことで、各チームの責任者、指導者の皆様はこれからどうなるのだろうという不安な気持ちでいることと思います。支部理事会としましては、今後メールまたは通知等で皆様と随時連絡を取っていきます。特に総務委員長から発する事柄は重要事項でありますので、よく理解しご協力をお願い致します。

この状況は恐らく簡単には収束することはないだろうと思われます。そんな長期戦を強いられる中で一番懸念されることは、子供たちのバレーボールへの情熱、チームの士気が下がってしまうことでもあります。また、我々指導者たちの子供たちを指導する情熱が覚めてしまうことでもあります。指導する我々がその情熱を失うということは、子供たちの情熱も失われてしまうことになります。各チームともそうならないよう対策を工夫することが大事ではないでしょうか。

例えば、毎日とは言いませんが、チームの監督、コーチが電話で子供の声を聴いてあげるとか、一日どのように過ごしたか日記を書かせて読んだ感想を子供に返してあげるとか、各チームでいろいろ考えてみてください。普段子供たちから憎まれている？指導者であっても、監督、コーチからの電話は子供たちにとって少なからずうれしいものです。また、保護者も安心することでしょう。ほかに何かいい手立てがあれば他チームにも教えてもらえればと思います。我々は我々自身の為にもそういう形で横の連携を取っていく必要があると考えます。

この事態はいずれ必ず終息します。その日が一日でも早く来ることを願います。そしてまた皆で体育館のバレーコートで切磋琢磨し、良い戦い良い西支部を作っていきます。それまで皆様、健康に気をつけてお過ごしください。